

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	理工学研究科化学工学専攻		
現在の学年	修士 2年		
留学先国	スウェーデン	留学先大学	スウェーデン王立工科大学
留学期間	2015年8月3日～2016年6月7日		

① 留学先大学の概略

スウェーデン王立工科大学はスウェーデンの首都ストックホルムにあります。世界中から留学生が集まり、修士課程では全ての講義が英語で開かれています。化学系は中央駅から電車で10分弱の場所にあるメインキャンパスで講義・研究しています。メインキャンパスから1時間ほどかかるKistaにもう一つのキャンパスがあります。



メインキャンパス入口

② 留学前の準備

もともと一年延長するつもりで計画を立てていました。

英語に関しては会話を重点的に勉強しました。具体的には英語を使う時間を増やしました。特に Skype 英会話は安価であるのに英語を話す時間を確保でき大変有用でした。

専門については院試勉強の時から専門用語を英語でも覚えるように意識していました。

ビザを取るのにパスポートが必要ですが、私の持っていたパスポートの有効期限が短すぎたため、作りに行かなければいけませんでした。その手続きが遅くなってしまい、結果ビザの申請も遅れたので(6月初め)、ビザが届いたのが出国1週間前とギリギリでした。スウェーデンは6月から夏季休暇に入るのでこの時期は仕事が遅いようです。早めの準備をおすすめします。

③ 留学中の勉学・研究

留学中は研究室に所属せず、1ピリオドあたり2つほど専門科目を取りました。それに加えてスウェーデン社会や就活用の英語を学ぶ講義なども受けました。私の所属した化学工学専攻は総単位の半分以上を専攻科目から選べば他は何でも受講することができます。またこの専攻はスウェーデン人が半分以下であり国際性がありました。

専門科目は全て授業と並行してグループワークがありました。グループワークはグループごとにテーマ or 問題が与えられ、授業とは別に時間を作って進めていき、最終的にレポートを書きプレゼンをしなければなりません。学部時代に他の専攻だった人いるからか、授業は基礎から教えてくれたので比較的容易についていくことができました。Study Trip でバイオエタノール工場等を見学し学んだプロセスを実際に見せてくれたのも良かったです。



グループワーク課題が終わった記念に撮った写真



シーメンスのタービン工場を見学

履修登録した科目

- Swedish A1 for Engineers
- Industrial Energy Processes
- Sustainable Systems for Heat, Power and Materials Production
- Swedish Society, Culture and Industry in Historical Perspective
- Renewable Fuel Production Processes
- Risk Analysis and Management for Chemical Engineers
- Environmental Management
- Cleaner Production
- Chemical Reaction Engineering
- Environmental Catalysis
- English for Employment

計 81.0 単位

[分析]

評価は期末試験もしくはプロジェクトの結果で決まります。最終評価をもらうには試験、セミナー、プロジェクト全てをパスすることが必要です。

正直なところすべての単位を取るとは思ってなかったのですごく意外でした。特に完全暗記の論述試験は苦戦しました。逆に持ち込み可の計算問題が含まれる試験は得点を取れたので、私の暗記力と英語による論述力の問題でしょう。完全なる準備不足を感じており、もっと頑張れば良い成績が取れたと思います。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

私のキッチンではメンバーの誕生日にいつもパーティーを開いていました。また寮が少人数ということもあり、イタリア人によるピザパーティーのような各国の有名料理を味わう会が寮全体で開かれたりもしました。私ももう一人の日本人と一緒にちらし寿司パーティーを企画しました。

テスト前の休み期間や週末、帰国直前にヨーロッパを旅行しました。安価な飛行機の便があり手軽に旅行ができます。機内持ち込みできる程度のリュック一つで一人旅を何度かしました。街並みや人柄が国ごとに異なり興味深かったです。

週末はよく友人とバドミントンをしていました。スウェーデンにはバドミントン専用の体育館がいくつもあり、マイナースポーツではないようです。冬は電車で 30 分ほどの場所にあるスキー場でスノーボードもしました。



イタリア人主催の自家製ピザパーティー



スウェーデン名物ザリガニを食べてみようの会



寮でちらし寿司パーティー



キッチンのメンバーと

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

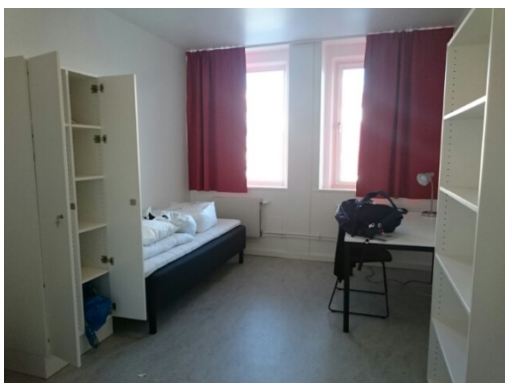
スウェーデンから帰ってきてから日本を客観的に見られるようになった気がします。今まで当たり前だと思っていたことに気付くようになりました。様々な日本仕様のもの、例えば電車の座席に座って床に足がべったり付くことに感動したりしました。また英語力は確実に上がったと思います。研究室の英語ゼミを苦戦しなくなり、研究室にいた留学生とも前よりテンポ良く会話できるようになりました。

⑥ 留学費用

奨学金は業務スーパージャパンドリーム財団から月 15 万円をいただいていた。家賃は月 3500SEK と他のスウェーデン留学生に比べれば安い方でした。外食は高いため自炊をしていました。渡航費は往復 17万ほどでした。

⑦ 留学先での住居

寮は留学先から与えられました。私は大学から 40 分弱地下鉄とバスを乗り継いで行く Tyreso という場所に住んでいました。私の寮はビルの3階と4階部分のみで KTH の学生 45 人ほどしかいませんでした。Tyresö は一人一人がワンルームを持ち、キッチン、シャワー、トイレが共用でした。キッチンのメンバーによって住み心地が変わるようで、2年ほど前にここに住んでいた日本人留学生は共用部分が汚すぎて寮を変えたそうです。私の時はメンバーに恵まれ特に問題はありませんでした。私の知る日本人留学生は人が多い順に、Kungshamra、Lappis、Bredeng、Flemingsberg、Tyresö、Farsta のどれかに住んでいました。どこに住みたいかは選べないので、家賃も寮の形態も運次第です。ストックホルムでは住居不足で住居を探すのが大変で、寮を出ようと思ってもできない人もいました。



部屋



キッチン

⑧ 留学先での語学状況

授業、生活共に英語ができれば十分です。ほとんどの人が英語を使えます。英語はなまりのせい聞き取ることができないことが結構あり、逆に聞き返されることもあり苦戦しましたが、いつの間にか慣れました。授業では携帯のレコーダーアプリで録音して聞き取れなかった部分を聞き返したりしていました。講師は話すスピードが速すぎることはほぼなく一番苦労したのは知らない単語が出てきた時でした。

スウェーデン語はできればもちろん便利ですし、使うとスウェーデン人は喜びます。ですが必要最低限は滞在してれば覚えられるので事前に準備する必要はないです。私は秋タームの始まる前にあるスウェーデン語の集中講義を受けました。そこで数字と自己紹介、挨拶等必要なものは覚えられました。スーパーでの買い物等では Google 翻訳が大変役立ちました。

⑨ 単位認定、在学期間

奨学金の関係で必要なため一部の単位認定を行う予定です。

在学期間は一年延長するつもりですが、現在その手続きは必要ないようです。

⑩ 就職活動

卒業を1年延長するため、就職活動は行っていません。夏のインターンシップに参加するため帰国直前から情報収集を開始しました。

⑪ 留学先で困ったこと

冬の日の短さは辛かったです。一時期やる気の起きないことがあったのですが、それは日光を全然浴びられないせいだったようで、友人に勧められ薬局で売っていたビタミン D のサプリを飲んだらすぐに治りました。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

スウェーデンはほとんどの人が英語を話せるので、ヨーロッパに留学したい人で英語を学びたい人には良い場所だと思います。現地語の学習に時間を取られないことがないので。

私は英語、特にスピーキングとリスニングが苦手でしたが、学部4年春の時に米国超短期派遣に参加し是非とも留学に行きたいと思って達成しました。

正規留学を考えていた時期もありましたが、時間と英語の成績の関係で諦めました。でも交換留学を選んで後悔はありません。どこまで自分に価値のあるものにできるかは自分次第だと思います。

留学先での時間的余裕が違うので、できるなら1年間行くことをお勧めします。